

# 横浜トリエンナーレ2008

## YOKOHAMA TRIENNALE



プレス用資料 2008/12/01

### 【 来場者数、79日間で306.633人 】

9月13日から横浜臨海地区を中心に開催しておりました、横浜トリエンナーレ2008。最終日には30万人も突破し、盛況のうちに閉幕いたしました。テーマ「タイムクレヴァス」のもと、25カ国・地域72人の作家による作品発表、関連プログラムを含む100本以上のイベントを実施。また今年も多くのボランティアの方々にご参加ご協力をいただきました。（会期中のアンケートの結果や、実施報告についてはまとまり次第HPIにて発表予定）

#### 総合ディレクター水沢勉よりメッセージ

展覧会という形式は、限られた時空で、消え去ってしまいます。時間の亀裂をテーマとして本展は、そのほんらいの主旨からして、パフォーマンスを強調し、全体として通常の展覧会以上に一過性という性格をつよく帯びたものでした。多種多様なパフォーマンス・プログラムが彩ではなく、その本体に組み込まれていたため、運営する側も、見る側もとても緊張感を要求されるものでした。全会期にわたって「作品」として持続するパフォーマンスも、無謀ともいべき試みでしたが、なんとか維持することができました。これも観衆の方々も含めて、すべてのひとの理解と支えによって成立したのだと思います。感謝にたえません。どうもありがとうございました。

「瓶のなかの手紙」に詩人パウル・ツェランは自作全体を譬えました。この展覧会もいつか、これからも無数の傷を負うであろう時空を越えて、メッセージを伝えてくれることを願ってやみません。

2008年12月 水沢勉



#### 30日最終日に30万人突破！！

16時40分、来場者数が30万人を突破いたしました！  
30万人目のご来場者は東京都大田区から来ていただいた、今村 浩さん(26) るみさん(28)ご夫妻。  
「ずっと来たかったのですが、最終日に、しかもぎりぎりにしてしまって、ついてないなあ、といていたところでもうれしいです！」とるみさん。

水沢総合ディレクターからも、「最後に駆け込んでいただいて非常にうれしいです。じっくり見ていただけないのは残念ですが、ぜひ、お気に入りの作品を見つけて帰って下さい。」と、残り時間を気に掛けながらもアドバイス。

「マシュー・パーニーとフィッシュリ&ヴァイスが好きで作品を楽しみにきました。残り時間本当少ないですが駆け巡りたいと思います。」と浩さん。

水沢ディレクターよりトリエンナーレグッズと花束をお送りいたしました。

【お問い合わせ】国内広報 (平・大西) Email:press@yokohamatriennale.jp TEL:03-5369-6065  
FAX:03-5369-6039 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1国際交流基金 芸術交流部内

《 参考：実施概要 》

テーマ：TIME CREVASSE タイムクレヴァス(ときの裂け目)

会期：2008年9月13日(土)ー11月30日(日)(計79日間)

会場：新港ピア、日本郵船海岸通倉庫(BankART Studio NYK)、赤レンガ倉庫1号館、  
三溪園、大さん橋国際客船ターミナル、ランドマークプラザ(10/26まで)、運河パーク

チケット：一般1,800円 大学生1,300円 高校生700円 ※チケットは会期中2日間有効です(連続しない日も可)。中学生以下は無料です。

ハローダイヤル：03-5777-8600 / 050-5541-8600(8:00 - 22:00) 03-5405-8686 (English 9:00 - 18:00)

ウェブサイト(PC、モバイル共通)：www.yokohamatriennale.jp

《 参考：参加アーティスト 》

マリナ・アブラモヴィッチ(セルビア)  
荒川 医と向井麻理(日本)  
ジョン・M. アームレーダー(スイス)  
マシュー・バーニー(米国)  
ジェローム・ベル(フランス)  
ウラ・フォン・ブランデンブルグ(ドイツ)  
ツアオ・フェイ / 曹斐(中国)  
ポール・チャン(中国 / 米国)  
チェルフィッチュ(岡田 利規)(日本)  
チョウ・ミンスクとジョセフ・グリマ &  
ストアフロント・チーム(韓国 + 米国)  
ニキル・チョプラ(インド)  
トニー・コンラッド(米国)  
ケレン・シター(イスラエル)  
ハンネ・ダルボーフェン(ドイツ)  
トリシャ・ドネリー(米国)  
マイケル・エルムグリーン & インガー・ドラッグセツト  
(デンマーク + ノルウェー)  
ペーター・フィッシュリ & ダヴィッド・ヴァイス(スイス)  
ディディエ・フィウザ・フォスティノ(フランス)  
ルーク・ファウラーと角田俊也(英国 + 日本)  
マリオ・ガルシア・トレス(メキシコ)  
ダグラス・ゴードン(英国)  
ロドニー・グラハム(カナダ)  
シルバ・グプタ(インド)

灰野 敬二(日本)  
シャロン・ヘイズ(米国)  
クリスチャン・ホルスタッド(米国)  
クスウィダナント a.k.a. ジョンベツト  
(インドネシア)  
ジョン・ジョナス(米国)  
ミランダ・ジュライ(米国)  
マイク・ケリー(米国)  
ハッサン・カーン(エジプト)  
ピチェ・クランチェン(タイ)  
テレンス・コー(中国 / 米国)  
小杉 武久(日本)  
マーク・レッキー(英国)  
ティム・リー(韓国 / カナダ)  
レナータ・ルーカス(ブラジル)  
ホルヘ・マキとエドガルド・ルドニツキー  
(アルゼンチン)  
ポール・マッカーシー(米国)  
ヨナタン・メーゼ(ドイツ)  
グスタフ・メッツガー(ドイツ / 英国)  
内藤 礼(日本)  
中西 夏之(日本)  
中谷 英二子(日本)  
ヘルマン・ニツチュ(オーストリア)  
大巻 伸嗣(日本)

オノ・ヨーコ(日本)  
パク・シュウン・チュエン / 白雙全(中国)  
フィリップ・パレノ(フランス)  
ファルケ・ピサノ(オランダ)  
ミケランジェロ・ピストレット(イタリア)  
マティアス・ポレドナ(オーストリア)  
スティーヴン・プリナ(米国)  
ニック・レルフ & オリバー・ペイン(英国)  
ペドロ・レイエス(メキシコ)  
ジミー・ロベール(グアドループ)  
笹本 晃(日本)  
ティノ・セーガル(英国 / ドイツ)  
田中 泯(日本)  
勅使川原 三郎(日本)  
リクリット・ティラヴァニヤ(タイ / 米国)  
ツイ・クワンユー / 崔廣宇(台湾)  
ダン・フォー(ベトナム / デンマーク)  
トリス・ヴォナ=ミシュル(英国)  
クロード・ワンブラー(米国)  
ケリス・ウィン・エヴァンスと  
スロッピング・グリッスル(英国)

以上 25カ国・地域 72名

《 画像ダウンロードサイトのご案内 》

ダウンロード画像一覧

横浜トリエンナーレ2008



トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008



トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008



トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008  
トリエンナーレ2008

参加アーティストの画像や、横浜トリエンナーレ2008のイメージ、ロゴなどがダウンロードできるページをご用意しております。

<http://yokohamatriennale.jp/2008/ja/pr/>

《 ダウンロード方法 》

使用画像を選択いただき、サムネイル下のタイトルをクリックいただきますと、ファイル(ZIP)のダウンロードが開始されます。ファイルフォルダの中には画像(JPEG)とキャプション(TXT)が入っております。

《 画像使用にあたってのお願い 》

画像には作品クレジットを必ず付記ください。  
参加アーティストの画像のトリミングは原則禁止です。  
原稿及び記事についてはご掲載前に横浜トリエンナーレ事務局 広報担当に確認のためお送りいただけますようお願いいたします。  
マシュー・バーニー、ティノ・セーガルの作品は作家の意向により画像の提供はございません。